

風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《1・2月号》 平成28年2月8日発行



2-5 越智友也
1-4 沖田拓海
1-5 木村綾花

3学期も早いもので1ヶ月が終わりました。みなさんいかがおすごしてしょうか。新しい年次に向かって、自分自身を一回り大きく成長させるためにも、本を読んで栄養をたくさん吸収してくださいね。今回も先生方におすすめの本を紹介していただきました。新刊も多数入りました。今年は何冊読みますか？目標を高く設定して、さあ図書室へ！！

先生方のおすすめの本



【神原先生より】

①おすすめの本：「調性で読み解くクラシック」

ベートーベンの「運命」といえば、「ジャジャジャジャー」。なぜ、ベートーベンは、ハ短調で扉を叩くのでしょうか？長調は楽しく、短調は悲しく感じるのには理由がある。そんな音楽の仕組みを1からわかりやすく書いてくれている本です。仕組みを知ると音楽がもっと楽しくなりますよ！

②北条高校生へメッセージ

本というのは数えられないほどたくさんありますが、その中で大切な1冊という本はありますか。みなさんがそんな本に出会えるように心から祈っています。

【富永先生より】

①おすすめの本：「トリツカレ男」いしい しんじ

一度何かに夢中になると取りつかれたようにそればかりになる「トリツカレ男」というあだ名のジュゼッペ。ある日出会った風船売りのペチカという少女の笑顔のくすみをなくすため、もてる技のすべてを使って奮闘する。

②北条高校生へメッセージ

登場人物といっしょに笑顔になったり涙が浮かんだりする、心がやさしく、あたたかくなれる物語です。とても読みやすい本なので、空いた時間に気軽に読んでみてくださいね。

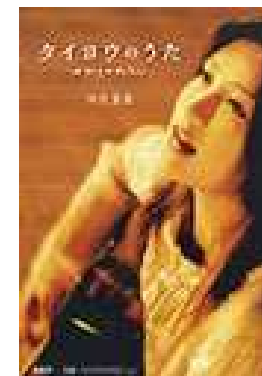


読書記録から

図書室の本を読んで、感想や意見を書いてもらった中からいくつかを紹介いたします。みんなさまざまな発見をしています。

タイヨウのうた / 河合夏希

主人公の薫と孝治は私達と同じ年なので、すごく読みやすく、自分に当てはめて読みました。太陽に当たれないという重い病気を患っている薫への孝治の優しさにとっても感動しました。生きる勇気を与え、一緒に立ち向かってくれる人がそばにいてくれて、とても心強かったと思うし、限られた時間だったけれど、きっと幸せな人生だったろうなと思いました。私も幸せだったと心から思えるように、悔いのない人生を送りたいです。久しぶりにいろいろと考えさせられる本を読みました。（2年次女子）



一瞬の風になれ1 / 佐藤多佳子

私はこの本を読んで、仲間のことや、一つの事に打ち込む姿勢というものを改めて考えました。この話とはある陸上部の大会までの日々、そして大会当日、それまでの苦難などを書いています。その中で一番すごいと思ったのは、400メートルリレーのときの事です。チームメイト4人で走るその一瞬にすべてをかけて走っている場面は感動しました。

この本は、何か部活やスポーツをしている人が読むと共感できてとても面白いと思います。他の人にもこの本をすすめてたいです。(2年次女子)



ちょっと今から仕事やめてくる / 北川恵海

最初はものすごくネガティブな感じの言葉を発していたり、考え方をしていたりだったのが、山本と名乗る男と出会い、どんどん人生が変わっていく様子を読んで、出会う人間の影響力というものすごいのだなと感じました。救われた主人公が、最後に山本に恩を返しに行くシーンがとても印象的でした。(2年次男子)



★図書室からのお知らせ★

購入して欲しい本がある人は、図書室にリクエストカードがありますので、ぜひ活用してくださいね！



☆新着図書☆

	書名	著者名	出版社
1	あなたがもし残酷な100人の村の村人だったら	江上 治	経済界
2	「神様アンテナ」を磨く方法	桜井 識子	KADOKAWA
3	掟上今日子の備忘録	西尾 維新	講談社
4	ねぼけ人生	水木しげる	筑摩書房
5	世にもおもしろい英語	小泉 牧夫	IBCパブリック
6	明治のお嬢さま	黒岩比佐子	角川学芸出版
7	人生はあはれなり…紫式部日記	小迎裕美子	KADOKAWA
8	本日もいとをかし!!! 枕草子	小迎裕美子	KADOKAWA
9	君の臍臓をたべたい	住野よる	双葉社
10	武道館	朝井リョウ	文藝春秋
11	キャロリング	有川 浩	幻冬舎
12	働く男	星野源	文藝春秋
13	流	東山 彰良	講談社
14	満願	米澤 穂信	新潮社
15	氷菓<1>	米澤 穂信	角川書店
16	氷菓<2>	米澤 穂信	角川書店
17	氷菓<3>	米澤 穂信	角川書店
18	もし高校野球の女子マネージャーがドラッグの『イノベーションと企業家精神』を読んだら	岩崎 夏海	ダイヤモンド社
19	下流老人	藤田 孝典	朝日新聞出版
20	世界は分けてもわからない	福岡 伸一	講談社